

拝啓 紅葉の季節、エル・エス会の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のお引き立てを賜り、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さて、台風の季節が通り過ぎてこれからは心安らぐ秋の季節に入っております。その一方ではエルニーニョ現象が発生し、急な冷え込みのおそれと今年の冬は寒さが厳しくなるようであります。くれぐれも皆様にはご自愛頂きお過ごし頂きます様にお願い申し上げます。

はじめに私事ではありますが、今月の十四日は私の人生の転換期となりました記念日であります。今年で創業三八周年を迎える運びとなります。毎月日を重ねる毎にそんなに時間が経ったのかと不思議になる月でもあります。長い月日の経過の中で出逢う人に去っていった人…、そのすべての人間関係が私の財産であると思える日々がともうれしく思える今日この頃であります。これからも皆様のお力になっていきます様に体力と氣力を、さらに充実させ日々精進をしていく所存であります。

さて、時の経過には色んな仕組みと錯覚がありますが、その中でも…、ある時私が気づいたことが有りました、過去を振り返ってみて三十歳の時も？五十歳の時も？そして今も…？過ぎて来た過去が長くなっているにも関わらず、過去の長さを感じずにいるのです。三十歳なら三十年間の長さがあり…、五十歳なら五十年間の長さが感じられると想うものですが？

実は時間の長さがどの時期に振り返りましても？時の長さを感じないのは私だけでしょうか？ 時が過ぎてみて感じることは、過去は過去でひとくくりになっているものだという事！これが私の学んだ、月日（時間）の経過のトリックのひとつであります。要するに時間の長さは記憶には含まれずに、

ただ断片的な出来事が記憶に残っているだけだということなのです。

従って今の苦労も幸福感も未来ではあまり心には無くて、今の現実だけが心の割合を大きく締めているということでもあります。結論としましては、今の苦労も幸福感も皆様の未来にはただの想い出に過ぎないものということを認識して頂きまして、今といった現実が心(幸福感)の大半を占めているとても大切なことなのです。これは若い人には是非頭の隅に入れて頂きたいことではありますが、今という瞬間が全てで、それが一番大事で、今が充実していて、悔いが残らない今であることが大切なことなのです。

今！ 幸せであるべきだということを認識して頂きたいと思っています。ところであります。それには努力のプロセスで苦労をされている方は、その時の時の心の力と成るように心我力で縁ある方々にお役に立って人の喜びを我が喜びとしていかなければならないのです。

***今を大切にする方法！(Nの法則から)**

三八周年を迎えるにあたって過去の経緯(体験)から閃いたことを書き留めてみました。これまでの経緯も皆さまあつての私であり、ライフステップであるという事、またそれはこれから変わることなく出逢う人の為にもより優れた心我力の威力を完成させていく所存であります。

これからも変わらぬご愛顧の程宜しくお願いいたします。

今月のインスピレーション！

「先ずは、やつてみて駄目ならやめれば良い！」

敬具

令和四年十月吉日

ライフステップ会長

山下昌弘